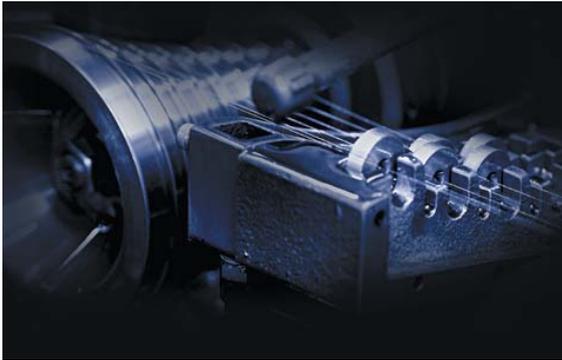


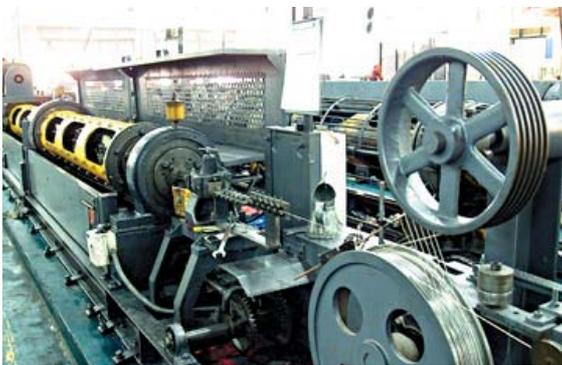
## 伸線技術



ワイヤーロープやワイヤーバー・コイルの素材となるワイヤーの伸線は、高精密に加工されたダイヤモンドダイスを通して連続冷間加工を行い目的の線径に仕上げる加工技術です。

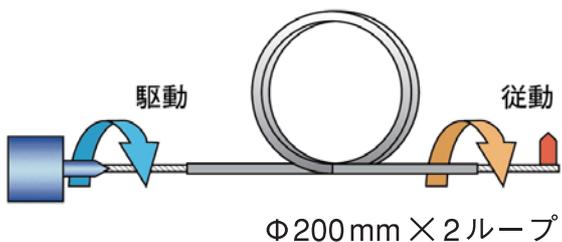
当社では、目的に応じた線径に仕上げるためのダイヤモンドダイスを社内で研磨しミクロン単位に仕上げる事が可能で素線径を  $2\mu\text{m}$  単位に作り上げることが出来ます。この精度を保持するためにダイヤモンドダイスの形状をレーザーを用いて非接触で計測する専用計測器を導入し品質保持をしています。

## ワイヤーフォーミング技術



伸線加工によって作られたステンレス鋼線などの各種ワイヤーを、目的に応じたワイヤーロープやコイルに加工する技術です。独自の加工機械や技術により高精度の加工が可能です。

## トルク技術



朝日インテックの医療用デバイスは、その優れた回転追従性により市場から高い評価を受けています。これは、朝日インテック独自の加工設備と特殊トルク技術によってワイヤーに理想的な回転追従性を持たせることができるからです。他社が実現できなかった優れた回転追従性がガイドワイヤーやカテーテルなどの製品に付与され、高度な操作性を実現しています。

## 樹脂コーティング技術



コーティング技術は、ワイヤーやロープの表面に PTFE 樹脂を  $2\mu\text{m} \sim 5\mu\text{m}$  の極薄膜に被覆する加工技術とナイロン樹脂を始めとする熱可塑性樹脂を最小膜厚  $20\mu\text{m}$  に押し出し成形加工する技術です。このコーティング技術によって被覆されたワイヤーやロープは、金属素材の持つ特性と樹脂の持つ特性が融合され新しい特性の持つ製品が生まれます。